

## 平成27年度 一般社団法人佐渡観光協会事業報告

平成27年度は北陸新幹線開業及び小木・直江津航路「あかね」就航による周遊滞在型観光を目指し、首都圏・関西圏を中心に広告宣伝展開及び商談会・キャラバン・物産展等に参加し佐渡への誘客を図りました。また、世界遺産登録を目指す佐渡金銀山の取組として、二次交通の整備や金銀山の他G I A H S・ジオパーク専門ガイドの活用を行い、受け入れ環境の整備と誘客に取り組みました。

今後、増える外国人観光客の誘客及び受入の整備の為、海外での観光展・商談会等への出展や旅行会社・メディアの招聘を行いました。また、情報発信の強化としてインターネット予約サイトへの特集掲出や、観光協会のホームページのリニューアルを行い外国語のサイトの充実を図りました。

旅行業事業においては、エンジョイプランの販売や島内で行われるスポーツ大会等の宿泊斡旋業務の依頼を受け手配業務を行いました。

### 【個別事業の概要】

1 誘客宣伝事業支出・・・137,711,294円

1) 給与費 39,773,836円

2) 事業活動費 9,752,208円

事務本部、両津港案内所、相川案内所、真野案内所、南佐渡案内所に職員を配置し、情報発信や誘客宣伝事業、観光案内に関する事業、市からの受託事業や補助事業、各種誘客イベント開催事業などを実施しました。給与費及び事業活動費は本支部の人件費、事務費及び自主事業運営関連経費で、佐渡市から人件費、事務費として事務局運営費補助金(①32,752,000円)を収受しました。

3) イベント運営事業 3,456,526円

支部主催・共催イベント(天領佐渡両津新能、宵乃舞、真野公園桜祭り、たらい舟・さざえ祭りなど)に対して運営及び助成しました。

4) 補助事業費 13,329,000円(①事務局運営費補助金32,752,000円除く)

②周遊観光促進受入充実事業補助金(6,340,000円)

北陸新幹線開業及びあかね就航にともない、小木港でのお出迎えなどおもてなし受入イベントやキャンペーンの実施や周遊観光の促進を図るため、小木発定期観光バス「ゴールデンロード」の運行ならびに支援を行いました。また島内観光関係業者で構成する団体が企画する旅行エージェントツアーの島内イベントに対し、佐渡産の食材の提供や芸能披露に係る経費の助成を行いました。

### ○新造船「あかね」就航記念イベント

- ・北陸新幹線開業小木港でのお出迎え(3月14日)小木港
- ・あかねチャーター歓迎セレモニー(4月18日)小木港
- ・あかね就航イベント(4月21日)小木港
- ・春の佐渡芸能祭(4月24日～26日)真野公園

- ・あかね就航キャンペーンお出迎え（4月22日～5月6日）小木港
- ・あかね就航割引キャンペーン（4月22日～5月6日）小木地区

○島内受入企画充実

旅行エージェントツアー島内受入イベントとして、ツアー客へ佐渡産食材の振る舞いや芸能披露として1人あたり200円補助を実施。

旅行会社名	実施期間	利用実績
読売旅行	4月10日～19日	956人
	7月4日～6日	699人
	10月25日～11月3日	611人
阪急交通社	10月5日～9日	476人
クラブツーリズム ※芸能披露をしていないため、 食材に対し100円補助のみ	10月1日～11月25日	4,031人
JTBメディアリレーリング	4月21日～26日	407人
	10月15日～23日	458人

○二次交通充実

小木港発の定期観光バス「ゴールデンロードA」を運行支援（合計237日間）  
利用人数：おとな1,508名 こども36名 計1,544名

【事業評価や今後の展開】

島内受入企画の充実や定期観光バスの運行支援などを充実させ、また、小木地区周辺の受入体制及び周遊型観光の促進を整備により、北陸新幹線やあかねを利用して佐渡へお越しいただいたお客様に対する満足度の向上や二次交通の利便性向上に繋がりました。

平成28年度についてもより一層の満足度向上や二次交通の利便性向上を図り更なる誘客を目指して、島内受入企画の補助や二次交通充実の補助は継続していきます。

③広域観光推進事業（2,800,000円）

佐渡市から補助を受け、対岸市の新潟市・長岡市・上越市との交流人口拡大を含めた広域事業を展開しました。北陸新幹線開業に向け新潟市・上越市との広域周遊ルート商品造成や首都圏からの訪日外国人誘致ルート作りのVJ地方連携事業への取り組み、直江津・小木航路、寺泊・赤泊航路の活性化のための広告宣伝、受入体制の整備を協議するなど対岸3市一体となった観光客誘致に努めました。

○新潟市との連携

- ・うまさぎっしり博2015 朱鷺メッセ（4月11日）、新潟競馬場観光PR（8月30日）
- 大阪駅Tis大阪観光PR（3月5日～6日）、大宮産直市（3月11日）、ガーラ湯沢観光フェア（3月19日）などに参加し、佐渡観光PRを実施。

- ・新潟観光コンベンション協会と連携し、新潟空港を活用したエアー商品造成支援を実施。
- ・新潟交通市内路線バス車内放送広告(中央循環バス、西循環バス)、日本ホテル新潟フェア(11月15日～1月14日)協賛広告、おでかけK o m a c h i 夏の佐渡特集への広告掲載を実施。

#### ○長岡市との連携

- ・長岡佐渡広域観光協議会で「あいびす」を活用した商品造成及び広告宣伝、受入体制の整備について協議、えちご長岡・佐渡広域観光フェアでの共同PRを実施。

#### ○上越市との連携

- ・北陸新幹線を絡めた広域周遊ルートの商品造成を推進する為、新潟観光コンベンション協会と3協会で「こいっちゃ上越・佐渡・新潟」のチラシ作成とT i s 大阪での店頭キャンペーンを実施。
- ・佐渡市・上越市観光・航路連携協議会事業の推進、上越タイムス夏・秋冬版で広告を掲載。

#### ○県外他市との連携事業

- ・東京交通会館での新潟市・会津若松市・喜多方市との4市合同物産販売PRを開催(9月3日～4日)
- ・会津若松市・十日町市との共同にて大阪での観光素材説明会・商談会を実施(9月17日)
- ・能登半島広域観光協会との連携にて能登半島現地視察会に参加し、石川県や珠洲市担当者等との意見交換会を実施。(8月9日～10日)

#### ○クルーズ船誘致事業

- ・クルーズ船の運航会社や旅行会社を訪問し、情報収集とセールスを実施。

#### 【事業評価や今後の展開】

北陸新幹線開業及び小木・直江津航路の高速カーフェリー就航を機に対岸3市との連携強化による広域での誘客に努めました。また、会津若松市や十日町市、能登との広域連携での周遊観光ルートの提案を実施しました。本年度も上越新幹線沿線での連携事業等県内外の広域での連携事業に取り組んでいきます。

#### ④外国人観光客誘致事業(4,189,000円)

佐渡市から補助を受け、中国、香港、台湾、韓国及びロシアを対象とし、佐渡島内に1泊以上宿泊する旅行商品を造成し、送客を行った旅行者に対して、1人1泊あたり1,000円(未成年の児童及び生徒などで構成の団体は500円)の報奨金を交付しました。また積極的にインバウンド関係者を佐渡へ招聘するとともに国内外のインバウンド商談会へ参加しました。

#### ○インバウンド商談会

ビジットジャパンアジアトラベルマート(6月17～18日)

日本の観光・物産展2015(台湾)(6月26～28日)

日本の観光・物産展2015(シンガポール・マレーシア)(7月28～31日)

ニューツーリズムインバウンドフォーラム(8月30日)

- ビジットジャパントラベルマート 2015(9月25～27日)
- ジャパントラベルセミナー及び商談会 (10月24日～27日)
- 台湾新潟県観光セミナー (1月21日)
- 旅行会社ツアー奨励金 (1,358,000円)
  - 報奨金実績 12社 1,346人 (昨年 13社 1,880人)
- 印刷物作成 (502,000円)
  - 英語パンフレット(1,200部)
  - まち歩きマップ英語版両津・相川・真野・小木 (各1,000部)
  - 佐渡観光DVD 英語版作成 270,000円
- 広告宣伝 (866,160円)
  - 外国語ホームページ特集広告 (ジャパニカン)
- VJ連携事業 (新潟市・湯沢町・みなかみ市・高崎市連携)
  - カラマジック観光ルートパンフレット(20,000部)
  - ルクレドール・アジアンコンGRES参加(8月24～25日)
  - タイ旅行会社・メディア招聘

【事業評価や今後の展開】

本年度から対象国にロシアを加えましたが実績はありませんでした。平成28年度はこれまで多くの送客実績のある中国や台湾、欧米諸国の他、少しずつ送客実績が伸びてきているシンガポールやタイなどへの誘致活動を進めていきます。

5) 委託事業費 86,067,146円

⑤三資産PR・誘客促進事業 (10,596,987円)

旅行業者が造成する春からの旅行商品パンフレットに周遊・滞在型の佐渡ツアー商品を掲載して集客につなげるため、モデルコースの提案や商品造成に対する支援を行い商品化を促進しました。

・旅行会社へのモデルコース提案や商品造成支援のPR

- クラブツーリズム商談会 (6月3日)
- 関東地区営業セールス (7月23日～24日)
- 関西地区観光商談会 (9月9日～10日) 等

・滞在・周遊型旅行商品造成促進支援 (団体型企画)

- JTBメディアリターニング
- クラブツーリズム
- (株)阪急交通社
- 読売旅行
- 西日本旅客鉄道(株) 等

合計 45,258名

・滞在・周遊型個人旅行造成促進支援 (個人型企画)

- 近畿日本ツーリスト個人旅行
- 日本旅行
- 佐渡汽船(株)
- 東武トップツアーズ
- JTB国内企画 等

合計 16,828名

・ふれあいガイドの利用実績

相川ふれあいガイド	175 件	
小木ふれあいガイド	243 件	
両津ふれあいガイド	56 件	
トキガイド	9 件	合計 16,282 名

【事業評価や今後の展開】

旅行会社へのPRができたことや旅行会社の企画担当者の方々が広告宣伝に関する補助金についてようやく、少しずつではあるが浸透し始めており、パンフレットの助成を利用して個人型・団体型合わせて60,000名を超える送客実績ができ、効果的な事業となりました。

平成28年度については、1泊でも多く佐渡島内で宿泊してもらうことにより、島内での滞在時間を長くするなどの滞在型観光を推進するため、団体型については今までの送客人数による報奨金から、宿泊者数による報奨金に内容を変更し、滞在型観光の強化を図ります。

⑥佐渡周遊観光宣伝事業 (2,240,000 円)

あかね就航にあわせ、周遊滞在型ツアーをPRするため、首都圏及び関西圏、近隣県のマスコミ・旅行エージェントを佐渡に招聘し、モニターツアーを実施しました。

- ・4月21日～22日 首都圏旅行エージェント 20名
- ・4月21日(日帰り) 県内旅行エージェント・メディア 35名
- ・6月16日～17日 関西旅行エージェント 20名

【事業評価や今後の展開】

あかね就航に合わせてプレス関係の参加者や旅行会社の企画担当者など多くの方にモニターツアーに参加していただくことができ、プレス関係では雑誌に掲載されたり、旅行会社の企画担当者からは旅行商品造成の際に新しい情報として掲載されるなど、事業の実施効果が見られる結果となりました。平成28年度も首都圏・関西圏の旅行エージェントを対象としたモニターツアーを実施します。

⑦予約サイト活用事業 (2,350,000 円)

インターネットの予約サイトで宿泊先を手配する個人客をターゲットに、周遊滞在型観光を中心に佐渡の特集ページを掲載することで情報露出を強化し、宿泊観光の増加を図りました。

- ・楽天トラベル (4月1日～4月26日) 1,308泊 (前年1,078泊 +22%)
- ・じゃらんネット (4月1日～5月27日) 3,212泊 (前年2,670泊 +20.3%)
- ・るるぶトラベル (4月1日～9月30日) 5,481泊 (前年5,217泊 +5.1%)
- ・予約サイト活用に関する説明会 (12月12日) 申込者 21名

【事業評価や今後の展開】

個人旅行客の誘客に向けたPRとして、大手インターネット予約サイトを活用

して北陸新幹線開業・あかね就航に併せた特集ページを掲出し、春から夏の誘客を図り、いずれも前年を上回る成果を得ました。

平成28年度も個人客をターゲットに3社の掲出を予定しています。

#### ⑧携帯CGMシステム管理事業（648,000円）

携帯電話利用者が動画を投稿し、管理者が選定の上、電子端末（新潟港・ネスパス・佐渡観光協会案内所のモニター画面やWebサイト）に配信するシステム「佐渡ワンダー動画」を管理しました。

##### 【事業評価や今後の展開】

平成27年10月で5か年事業が終了。利用者も減少しており平成28年3月末をもって配信サービスを停止しました。

#### ⑨観光情報発信事業（1,840,609円）

旅行者のニーズに対応した情報の充実を目指し、佐渡観光協会ホームページの観光情報の更新及び修正や佐渡観光地図アプリの作成などを行いました。

- ・ イベントガイドデータを秋冬版と春夏版を作成。
- ・ 着地型特選プラン「エンジョイプラン」のデジタルパンフレット春夏版・秋冬版を作成。
- ・ 観光地図アプリの公開。地図上に表示される観光スポットから詳細情報をかんとたん操作で表示ができ、そのまま電話を掛けたりホームページなどの情報を見ることができる便利なアプリを作成。

##### 【事業評価や今後の展開】

イベントガイドのデータ掲載により、ホームページから印刷可能となり印刷費を抑えられ、問い合わせへの対応がスムーズに行うことが可能となりました。また、エンジョイプランのデジタルパンフレットにより、予約申し込みへの誘導が改善されました。3月に地図アプリを公開したところで、観光シーズンに向けて新たな情報提供のツールとしてPRしてまいります。

#### ⑩新造船「あかね」・北陸新幹線PR事業（4,710,086円）

北陸新幹線開業及びあかね就航に伴い、旅行エージェント現地視察助成の継続や佐渡と能登地域を結ぶあかしあ就航への宣伝広告、佐渡観光PRの物産展及びキャンペーン、イベントへの参加や営業セールスを実施しました。

- ・ 旅行エージェント現地視察補助 44名
- ・ 物産展・イベント等

ドラ佐渡PR（4月25日）、上野産直市（5月14日～15日）

JR大宮駅産直市（7月19日～20日）

うまさぎっしり新潟福岡イベント（9月3日（木）～6日）

大宮駅産直市（9月14日～16日）

モンベルフレンドフェア横浜（10月3日～4日）

モンベルフレンドフェア大阪（11月7日～8日）

## ふくしまうまいものLIVING フェスタ（1月30日～31日）

### 【事業評価や今後の展開】

旅行会社の職員向けに商品造成を目的とした島内視察や研修会等の実施に対する補助するための要綱を作成し、商談会・営業セールスの際に利用していただけるよう提案しました。

平成28年度については、旅行会社の企画担当者が変更になることで初めて企画する担当者も少なくないことから、島内現地視察助成については継続していきます。また、物産展やキャンペーンなどのイベントについても積極的に参加して佐渡観光のPRを図ります。

### ⑪佐渡金銀山応援ツアー商品造成支援事業（3,037,183円）

旅行会社が造成する夏以降の旅行商品パンフレットに世界遺産登録に関連する構成資産を活用したツアー商品を掲載して集客につなげるため、商品造成に対する広告支援を行いました。

・旅行会社へのモデルコースの提案や世界遺産ロゴマーク入り商品造成支援のPR

団体型企画 3社 各2回新聞掲載

阪急交通社

クラブツーリズム

高知新聞企業

個人型企画 4社

ANAセールス

JTBガイアレック

日本旅行

近畿日本ツアーリスト個人旅行

### 【事業評価や今後の展開】

団体型企画については、自社媒体以外でも佐渡の商品についてPRされたことにより、旅行会社の会員以外にもより多くの人に佐渡をアピールすることができました。新聞紙面の掲載は、各旅行会社とも広告料を予算化されていない旅行会社も多く課題点として浮上してきました。

個人型企画については、荒天による特急の運休やあかねの冬期間運休などもあり、下期の商品造成は関東地区に限られてしまう傾向はあるが、下期の集客が薄くなる時期にPRを行うことである程度の集客ができました。

平成28年度については、団体型・個人型ともに要綱の内容を再検討し、旅行会社が下期でも商品造成しやすく誘客につながるような内容にして冬場の誘客を図ります。

### ⑫佐渡市貸切バス集中時期受入支援事業（5,176,122円）

修学旅行等で佐渡市内の貸切バス利用が集中する時期において、佐渡市内の貸切バス事業者が所有するバスの台数では対応できない場合に、佐渡市外から持ち込む貸切バスの航送料等を支援することで集中期の円滑な受入体制を整備しまし

た。

- ・ 修学旅行受入支援  
バス航送 35 台  
新潟航路 13 回 26 台、直江津航路 4 回 5 台、直江津新潟航路 2 回 4 台
- ・ 貸切バス集中時期の受入支援  
バス航送 24 台  
新潟航路 6 回 6 台、直江津航路 17 回 17 台、直江津新潟航路 1 回 1 台

#### 【事業評価や今後の展開】

修学旅行が集中する 6 月の貸切バスの支援として継続しており、県内の修学旅行を取り扱う旅行会社等にも周知されており、一定の効果が出ています。

一般旅行者向けの支援については初めての事業で、周知期間が短かく申請が少なかったため、平成 28 年度は事前周知により貸切バス対策を行い誘客を図ってまいります。

#### ⑬誘客広告宣伝事業(9,680,000 円)

佐渡観光への誘客増を図るため、観光関係者による観光誘客キャラバンの実施や旬の観光情報を新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどで広告宣伝展開を図りました。また総合パンフレット「佐渡さんぽ」、「観光マップ」を作成し、島外に向けて情報発信を行いました。

- ・ 広告宣伝  
新潟 日報佐渡特集 平成 27 年 5 月 17 日（日）朝刊  
平成 27 年 7 月 12 日（日）朝刊  
マリンダイビング 7 月号 広告  
月刊ダイバー 9 月号 広告  
モンベル会員誌 2015  
岳人 9 月号トレッキング広告  
BS-TBS「JNNふるさと紀行」CM放送
- ・ メディアキャラバン 6 月 17 日東京～6 月 18 日大阪  
東京 スポーツニッポン、東京スポーツ、デイリースポーツ、日刊スポーツ  
日刊ゲンダイ、報知新聞、東京中日スポーツ、サンケイスポーツ、  
夕刊フジ  
大阪 サンケイスポーツ、スポーツニッポン、報知新聞
- ・ 観光誘客キャラバン 東京スカイツリーソラマチ、JR 川越駅（3 月 4 日～6 日）
- ・ パンフレット作成  
佐渡観光マップ作成 60,000 部  
佐渡さんぽ作成 30,000 部

#### 【事業評価や今後の展開】

当初の計画通り、広告宣伝やメディアキャラバンを実施。マップ・佐渡さんぽの印刷も不足させることなく対応しました。本年度はゆるキャラの活用を加え、効果的な広告宣伝を行います。



⑭ J R連携広告宣伝事業(11, 126, 540 円)

J R東日本及びJ R西日本と連携し、管内での車両ラッピング広告や駅内でのデジタルサイネージ、ポスター掲出などの情報発信を行いました。

- ・ 埼京線・りんかい線車体広告の実施(2月15日~3月13日) 10両車両、1編成
- ・ 京阪神線車体広告・中づり広告・A Dビジョン広告の実施(8月2日~9月6日)
- ・ 京阪神線中づり(240枚) ドア横ポスター(90枚)(8月17日~9月6日)
- ・ A Dビジョン大阪駅中央口セット(8月24日~8月30日)
- ・ 新潟駅構内でのA Dビジョンによる佐渡汽船運行状況放映(11月1日~3月31日)

【事業評価や今後の展開】

首都圏・関西圏からの誘客の為、J Rの広告媒体を活用しP Rを展開しました。平成28年度もJ R東日本・J R西日本と連携し交通機関を活用し広告を行う他、J R西日本と連携し、関西発の北陸新幹線を使った旅行商品の販売促進を行います。

⑮ 着地型観光P R事業(5, 701, 880 円)

着地型商品の開発・実施及びエンジョイプランや特選パンフ、トレッキングマップなど着地型パンフレット類を作成して個人旅行者向けに送付するなど着地型観光をP Rしました。

- ・ 着地型観光をP Rするためのパンフット作成

2015 特選ツアーパンフレット	7, 000部
薪能チラシ	10, 000部
秋冬エンジョイプランパンフレット	15, 000部
春夏エンジョイプランパンフレット	25, 000部
大佐渡トレッキングマップ	20, 000部

- ・ 関係機関と連携した着地型イベントの実施

J R東日本駅からハイキング

5月9日(土) 岩首棚田散策 23名参加

10日(日) アオネバハイキング 25名参加

大佐渡石名天然杉ハイキングツアー

6月20日(土)~11月3日(火)53日設定(14日催行)参加者225人

【事業評価や今後の展開】

佐渡の滞在型観光をすすめるため、着地型旅行の企画商品開発を行い、エンジョイプランの告知を行いました。また、J R東日本と連携した駅からハイキングや大佐渡石名天然杉ハイキングツアーを実施し誘客を図りました。平成28年度も継続して着地型商品の販売とツアーを企画してまいります。

⑯ 着地型観光推進事業(4, 667, 712 円)

花観賞ライナーバス、石名天然杉ライナーバス、薪能ライナーバスの運行を行い二次交通の充実を図りました。

・ライナーバスの運行

ドンデンライナー	運行便数	194 便	1,455 人
金北山ライナー	運行便数	27 便	313 人
大佐渡石名天然杉ライナー	運行便数	24 便	78 人
カンゾウライナー	運行便数	64 便	404 人
薪能ライナー	運行便数	16 便	291 人

【事業評価や今後の展開】

トレッキング客等の利便性を図るためライナーバスを継続して運行しており、認知度が高く定着してきています。平成28年度は其中で乗車率が大きく下降している天然杉ライナーを廃止し運行をツアー利用へ切り替えを図ります。また小木・直江津港路利用者の島内移動の利便性を高めるため、ドンデンライナーやカンゾウライナー等の一部運行便との接続可能な「小木両津リレー便」を新設。これまで無料であった薪能ライナーを有料運行とし収益の確保に努めます。

⑰ グルメ旅造成開発支援事業（2,434,570 円）

活ズワイガニなど佐渡の食材をPRするため、パンフレットの作成や旅行会社との連携による佐渡グルメ商品造成に対する助成、新メニュー開発への支援などを実施しました。

・モニターツアーの実施

佐渡伝統芸能の観賞と体験（6月19日～21日）参加者：15名（添乗員1名）

佐渡3資産と体験型観光（9月20日～21日）参加者：3名（添乗員2名）

佐渡祭り巡りと祭り料理（10月19日～20日）参加者：3名（添乗員2名）

・旅行会社が造成した旅行商品等に要する経費補助 2社

JTBメディアリテリング、読売旅行

【事業評価や今後の展開】

新たな商品造成に向けたメニュー開発を目指す上で、現状の課題を把握し、具体的な素材として何が提供できるのか、また佐渡産の素材を使うに当たっての提供時期や仕入方法などの検討を行い、具体的な食材を用いての試食会等による課題解決を優先させました。

平成28年度については、郷土料理のレシピを活用した勉強会などを中心にして佐渡らしい料理を観光客に提供できような体制づくりを進めていきます。

⑱ 佐渡PRゆるキャラ活用事業（緊急雇用）（840,000 円）

⑲ 佐渡PRゆるキャラ活用事業（3,072,000 円）

ゆるキャラによる観光PR活動を図るため、観光イベント、物産展等への出演及び来訪者へのお迎え・お見送りなどを行った。また関連グッズ等の作成も行いました。

・観光イベント・物産展等での誘客PR 出演回数 39回

・来訪者のお迎え、お見送り 15回

**【事業評価や今後の展開】**

ゆるキャラブームの中で、佐渡を代表する「ブリカツくん」を活用したPR活動を行い、全国での誘客イベントに参加し人気キャラクターとして集客や会場の盛り上げに役立てました。島内のイベントや港でのお迎えにも参加し、佐渡でのおもてなしにも努めました。平成28年度は雇用形態を変更し誘客広告宣伝業務の事業の一部としてゆるキャラの活用を行います。

**㊸ 相川観光交流センター受付事業 (2,560,867円)**

相川支部の佐渡市役所相川支所観光案内所への移転に伴い、それまで観光案内所であった相川観光交流センターについて、新たに管理業務委託を受けたことから職員を配置し受付管理の業務を行いました。

**【事業評価や今後の展開】**

平成28年3月をもって管理業務委託を終了しました。

**㊹ 離島体験交流事業 (1,195,604円)**

佐渡島内の小学生と長野県内や入間市、国分寺市などの友好交流都市の小学生との交流を目的に「サマーキャンプ in Sado～離島体験ツアー」を実施するための旅行手配、申込受付及び当日の旅程管理等の業務を行いました。

A日程：7月29日～31日 島外20名 島内1名 計21名

B日程：8月5日～7日 島外22名 島内4名 計26名

**【事業評価や今後の展開】**

急遽、実施が決まり、それから企画内容の検討や募集を行うことになったため時間がない中での実施になったが、島外からの参加者が思った以上に多く、参加した小学生からも好評であり、事業目的でもある小学生同士の交流を図ることができました。平成28年度は日程をを1回にして実施したいとの市の意向をうけ、検討を進めています。

**㊺ 佐渡観光ウェブサイト再構築業務 (9,999,936円)**

佐渡金銀山の世界文化遺産登録に向け、国内外における佐渡の魅力発信や観光情報提供等の強化が喫緊の課題となっており、外国語ページの充実並びにSEO対策強化をするため、日本語ページを含めた佐渡観光ウェブサイトを再構築し、3月末に公開しました。

**【事業評価や今後の展開】**

新たにウェブサイトの再構築により、見やすく検索しやすいデザインのトップ画面となり、イベント情報や体験プログラム等への誘導がわかりやすくなりました。また、CMSにより、管理のしやすいシステムとなり、外国人ホームページについても、情報のリニューアルが行われ、海外からのアクセスも容易となりました。平成28年度は新たなウェブサイトの情報の修正更新をこまめに行い活用を図ってまいります。

## 2 旅行業事業支出・・・23,562,894円

着地型旅行商品・宿泊手配や主催・手配ツアー、ライナーバス運行、エンジョイプランHP管理などを実施しました。

職員1名を配置して商品造成などの業務を行いました。また旅行業収入消費税を納めました。

区分	H27年度収入	H26年度収入	対前年比
エンジョイプラン	2,770,833	5,330,827	51.9%
宿泊手配	1,145,007	1,488,973	76.9%
主催・手配ツアー等	4,305,948	2,224,625	193.5%
ライナーバス乗車賃	2,031,799	2,330,258	87.2%
準市民登録委託	60,000	0	100.0%
モニター委託	0	257,968	0%
計	10,313,587	11,632,651	88.0%
スポーツ大会等	10,362,560	29,973,832	35.4%
合計	20,676,147	41,606,483	49.7%

- ・エンジョイプラン 894人（前年1,524人）
- ・宿泊斡旋1,739人（前年1,886人）
- ・ライナーバス 2,228人（2,720人）

- 1) 商品造成仕入等支出 18,551,928円
- 2) 給与費 3,000,373円
- 3) 使用料及び賃借料支出 369,360円
- 4) 租税公課支出 1,025,952円

### 【事業評価や今後の展開】

平成26年度はママさんバスケットボール交歓大会・全国離島交流中学生野球大会がありました。平成27年度はバレーボールや剣道大会などのスポーツ少年団の大会や新潟県スポーツフェスティバルのグラウンドゴルフの大会を受け持つことができ、平成26年度に続いて収入をあげることができました。今後も多種多様な商品プランの造成やスポーツ大会等の宿泊手配をするなど旅行業事業に努めていきます。

## 3 管理費支出・・・12,206,815円

常務理事及び1名の職員を配置して法人運営の基本的事務を行いました。かかる経費として、役員報酬・職員給与・会議費・旅費交通費・負担金等に支出しました。